

Takahisa Aida



琴線にふれる音 《會田賢寿》  
～パリで見つけたクラヴサンの響き～

2023年12月16日[土]

14時開演 13時30分開場

クリエイティブスペース ●● 赤れんがホールⅡ

[チケット料金] 全席自由・未就学児入場不可  
2,000円  
(当日2,500円。当日残席がある場合のみ販売)

[チケット発売] 10月20日(金)10時～

[プレイガイド] C・S赤れんが、山口情報芸術センター  
山口市民会館、サンパークあじす

[託児サービス] 子ども1人500円。12/8(金)までに要・申込み

主催 / 山口市  
クリエイティブ・スペース赤れんが  
(指定管理者: NPO法人こどもステーション山口)  
問合せ / C・S赤れんが TEL083-928-6666

-profile-

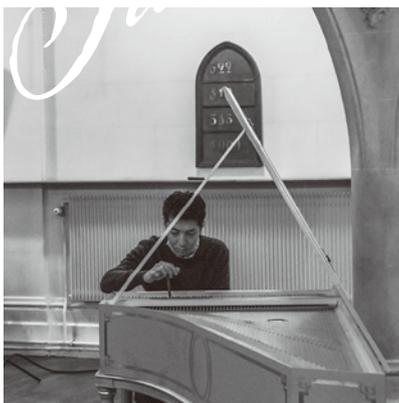
會田賢寿 Takahisa Aida

東京藝術大学音楽学部を卒業後に渡仏。パリ国立高等音楽院に学び、栄誉賞付き満場一致の首席で修了する。その後もパリ市立音楽院の演奏家課程において研鑽を続け、フランス音楽を中心にしたプログラムと演奏解釈に対し満場一致の賞賛付きでディプロムを取得する。第23回国際古楽コンクール<山梨> チェンバロ部門において最高位(第二位)入賞。文化庁新進芸術家海外研修制度2年研修員。室内楽奏者として第27回青山音楽財団パロックザール賞を受賞するほか、欧州各地の国際古楽コンクールにて入選。フランス国立メスマン管弦楽団やオーヴェルニュ室内管弦楽団などのオーケストラとの共演や、仏国営ラジオ、フランス国内外の音楽祭やCD録音に多数参加する。ソリストとして初のCD「AUX IDÉES HEUREUSES」がフランスのレーベルから発売される。ヨーロッパでの活発な演奏活動のほか、現在はパリ郊外のマルリー・ル・ロワ音楽院の講師、オーベルヴィリエラ・クールヌーヴ音楽院のチェンバロ伴奏員として後進の育成にも力を注いでいる。チェンバロを鈴木雅明、ノエル・スビート、ブランディーヌ・ラヌー、オリヴィエ・ボーモン各氏に、室内楽をケネス・ワイス氏に師事。



-message-

この現代において、音楽をする意味とは一体何なのだろう?と、ふと疑問に思うことがあります。チェンバロという楽器やプログラムに興味があるから...、知り合いに誘われたから...、フランスに住んでいる若僧(?)が来るらしいから冷やかに...、どんな理由であれ、音楽のもとに集うことで生まれる出会いや再会、新しい発見や気付き、或いは追憶に浸る...そこで起こる「化学反応」を皆さまとクリエイティブ・スペース赤れんがで共有できる日を心から楽しみにしております。



# 琴線にふれる音 《會田賢寿》 ～パリで見つけたクラヴサンの響き～

-program-

シャンボニエール... 「神々の対話」ほか クラヴサン曲集第1巻より

ジャケ・ド・ラ・ゲール... 組曲イ短調 クラヴサン曲集 (1678) より

バッハ... フランス組曲第1番

ラモー... 組曲イ短調 新クラヴサン曲集 (1728) より ほか。 ※プログラムは当日変更になる場合があります。

[問い合わせ] クリエイティブ・スペース赤れんが

OPEN 9:00~17:00 休館日:月曜日・祝日の翌日

〒753-0088 山口県山口市中山河原町5-12 TEL083-928-6666 FAX083-928-6611

✉ renga-ya@c-able.ne.jp http://www.akarenga.justhpbbs.jp/

赤れんがへの交通案内

- 山口宇部空港から... 高速連絡バスでJR新山口駅まで30分
- JR新山口駅から... 山口線にて山口駅まで24分、同駅より徒歩15分
- お車の場合... 山陽自動車道(防府東IC下車、または九州・中国自動車道(小郡IC下車)より、共に30分)



チェンバロについて (独: Cembalo, 伊: clavicembalo)

※フランス語ではクラヴサン (clavecin)、英語ではハープシコード (harpsichord) と言います。

チェンバロは16-18世紀にヨーロッパの貴族の象徴としてひろく用いられた、鍵盤を持つ撥弦(はつげん)楽器です。鳥の羽軸(うじく)などで作られた小さな爪(プレクトラム)が金属製の弦を下から上へはじくことによって発音されます。

赤れんがのチェンバロ

1551年、フランシスコ・ザビエルがキリスト教布教の許可を得るため、大内義隆に「マニコルディオ」という楽器を贈りました。「マニコルディオ」はのちに改良されてチェンバロになったと言われています。

1995年、山口市はこの史実にちなんで、大内氏の家紋「大内菱」と、ザビエルの紋章を施したチェンバロを製作し、赤れんがに設置しました。爪にはコンドルの羽軸を使っており、優雅で華やかなその音色は聴く人を魅了しています。



18世紀フレンチモデル 2段鍵盤 音域5オクターブ  
全長236センチ 幅94センチ 高さ98センチ  
楽器製作者 佐藤裕一(神奈川県) 装飾 高倉由美子(宮城県)

赤れんがのチェンバロ